



http : //www.hica.info



HIC 協会会報誌トドス 発刊によせて

協会活動も新体制で手探りの2年が過ぎました。今期、新たに幹事活動に中村ゆかりさんが参加し、休刊していましたミニトドスに変わり新トドスを発刊する事になりました。

「トドス」はスペイン語で「みんな」のこと。協会・会員皆様のこととインテリアに関することを発信していきたいと思います。これからはホームページとトドスでの広報活動になりますが、いつもの充実のためには皆さんの協会活動への参加が不可欠となります。トドスで取り上げてほしいこと、身近な出来事、宣伝など皆様からのご意見をお寄せ下さい。また、取材の折には会員皆様のご協力を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます 北海道インテリアコーディネーター協会会長 中村雅彦

暮らしから考える北のデザイン研究会セミナー報告

本年度もついに始動致しました 『暮らしから考える北のデザイン研究会 (略称：暮研)』



は今期で3年目を迎えます。

今期の研究テーマは内と外を繋ぐ『開口部』。自然が豊かで四季の美しい北海道。同時に寒さ厳しい冬の北海道。開口部の在り方が、暮らし方そしてインテリアへと大きな影響を与えます。

北海道の暮らしに合う魅力的なインテリアを考える時、この開口部について学ぶことで何か良いヒントを得られるのではないかという声がかきかけとなり、今期の研究がスタートしました。

先月7月25日に開催致しました第1回暮研セミナーでは、インテリア文化研究所の本田榮二氏を迎え『窓から考えるインテリア／インテリアと文化と歴史』をテーマに3時間に及ぶ長編大作セミナーを、33名のご参加を頂き大盛況の中終えることが出来ました。本田氏は内装材メーカーに勤務し長年インテリアエレメントの営業・開発・環境問題に従事され、世界各国の文化や歴史を見、研究を重ねながら、最新トレンド情報の収集も精力的に行われるなどインテリア分野において広く深く見識をお持ちでいらっしゃいます。『温故知新』の教えにあるように歴史を学ぶことで現在を把握して行く、インテリア全般に渡る誠に興味深いお話を講義頂きました。

ー セミナーから ー

インテリアの起源は1万5千年前のアルタミラ洞窟、狩猟の祈禱として野牛等の壁画を描き、入口に毛皮を吊り下げ、干草を床に敷いて生活をしたこととされており、これらが現在の壁装材・カーテン・カーペットへ発展したと言われています。そして住まいは洞窟から土やレンガで住宅や集落を構築するカタチに変遷し、中には『防衛』の為に日干レンガで造った出入口のない家などがあり、人々は梯子を使って屋根から出入りをし、夜は梯子を外して外部民族の侵略から身を守っていました。現在の住宅のカタチに至るまで、採光・通風・遮蔽・眺望・防犯に如何に対処するかで様々な努力を重ねてきており、特に石造組積式の欧州における建築工事の歴史は、いかに強度を落とさずに大きな窓を造るかの絶えざる努力の歴史であると言えます。また、閉鎖的な住空間であるからこそ人々は室内へ心の充足を求めインテリア文化が発展してきた背景があります。室内の色彩においても地域による違いがあり、冬は雪で白一色、さらに夜の長いフィンランドのマリメッコや、周囲が砂一色である砂漠地方の絨毯のように、自然の色彩が希薄になる程人間は室内に色彩を求めます。対して日本は四季の移ろいが美しく自然の色彩感が豊かであるので、室内の色彩は彩度の高い色や派手な柄物の壁紙は主流にはなり得ないという特徴があります。このように、気候風土・宗教民族性・植物生態系の3要素において、それぞれの生活文化に基づいた住まいが構築され発展してきたのです。一本田氏談

それぞれの生活文化を理解し、一長一短ある物の特徴を理解し適材適所で使い分ける、インテリアコーディネーターには幅広い知識が必要なのだと改めて感じました。 また、本田氏の広い見識に感銘を受けると共に、『好きなことをもっと知りたい』という純粋でひたむきなエネルギーとその姿勢に触れ、刺激を受けた方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。(私もその一人です。)

本田先生、実り多きセミナーをご教授頂き、誠に有難うございました。 暮研委員長 増永佳奈



会員番号 A-056 畑山幸徳氏プロフィール

札幌市豊平区豊平3条9丁目1・2(街)インテリアハウス代表取締役

TEL : 011-812-4863 FAX : 011-842-4886 email : hatayama@f2.dion.ne.jp

お部屋のポイント、窓周りについて実に多くの提案をなさっています。住宅展示場での華麗なカーテンと上飾りは[作品]です。お部屋のスタイルから風と共に去りぬのスカレットオハラをイメージさせる窓周りやシックな色調のコーディネート、マンションの窓をより素敵に空間に仕立てる縫製と取り付け方などファブリックアーティスト。



発行日 平成 19 年 8 月 20 日
発行人 北海道インテリアコーディネーター協会
札幌市中央区 南 6 条西 17 丁目 2・7・106
Tel : 011-788-7055 Fax : 011-788-9935
事務局 E-mail
hokkaidou-ica@hica.co.jp
発行責任者 中村ゆかり

平成 19 年度		活動報告
4 月 05 日	臨時幹事会	7 月 25 日 暮らしから考える
4 月 18 日	第一回幹事会	北のデザイン研究会セミナー
4 月 25 日	平成 19 年度総会	8 月 03 日 サマーパーティー
5 月 16 日	第二回幹事会	真夏の夜の夢 in 野幌
6 月 20 日	第三回幹事会	8 月 08 日 第五回幹事会
6 月 20 日	第三回幹事会	8 月 08 日 第五回幹事会
7 月 18 日	第四回幹事会	

よろしくお願いします！

今年度から幹事になりました。すぐにトドス編集長という大役を命ぜられ、右も左もわからないまま、たくさんの人たちに支えられて復活第1号を発行することができました。ほんとうにありがとうございます。情報発信はもちろんのこと皆様の仕事環境の向上にすこしでもお役にたてるような紙面をつくってまいりますので、ご意見、ご要望等なんなりとお聞かせください。 どうぞ、よろしくお願いします。

北海道インテリアコーディネーター協会広報トドス編集長 中村ゆかり

サマーパーティー 真夏の夜の夢 in 野幌



8月3日恒例のサマーパーティーが江別市・野幌“JAZZ ハウス”で行われました。生バンドの演奏を聴きながら、いつもとは、また少し違うパーティーを当会会員・IP 協会の方など17名が楽しみました。会長、新会員、新賛助会員になられた皆さんのご挨拶のあとはしばし歓談。 さあいよいよライブです。



演奏は当会、事業部長清水さんがメンバーのおやじバンド“ G・G・S ”

キーンとしたエレキギターの音で演奏が始まり、皆さん、ときに身体をスイングさせ、ときにかじりつき、ベンチャーズのダイヤモンドヘッドをはじめ12曲1時間の演奏を楽しみました。貸切り会場はバーカウンターとボックス席があり、くつろいだ雰囲気と生ライブはグラス片手に親睦を深め、ビールを格段に美味しくしてくれた、真夏の夜の出来事でした。



これからも皆さんと楽しい時間を共に出来ることを幹事一同願っています。副会長 岸田恵子

窓周りのインテリア その1 カーテンのヒダとギャザー

暮研では今年度、外と内を繋ぐものとして開口部を研究します。トドスでも IC に身近な窓周りのインテリアについて掲載します。今回はカーテンのヒダとギャザーについて。

さて、皆さんはどのようなスタイルを提案していますか。 賛助会員の皆さんにお聞きしたところフラットカーテンが多くなっているようですが、これはマンションや窓面の大きな角型の住宅に取り入れられています。圧倒的に多いのはやはり両開きひだカーテン。柔らかなドレープには布の持つぬくもりを感じ取る事ができますので、その特性に惹かれる方が多いのでしょう。 また家庭での洗濯が容易な商品が多くあり、自分たちでの扱いのよさもあります。 普通のカーテンと思われるこのひだカーテン、いつもと違う提案をして見ませんか。ご協力はインテリアハウスの畑山会員です。

・ 美しいドレープとは折山から裾に流れるラインの美しさです。ひだを出すために三ツ山にするのかギャザーにするのかなど、レースと厚地では考えなければならない色々な違いがありますよ。

・ ヒダとギャザー	ヒダ2ツ山	1倍～1.3倍	1.5倍
	3ツ山	2倍	
	ギャザー	2.5倍	3.0倍 3.5倍

・ 2倍ヒダで3つ山、2ツ山どちらにも出来ますが、3つ山はくぼみ(谷)2つ、2つ山はくぼみ1つ。

僕は生地にもよるけれど、くぼみ1つがきれいに見えると思ってます。

・ きれいなヒダ仕立てには、ヒダを押えている縫い目も縦・横・点とそれぞれ縫製の工夫が必要になってきますよ。(高級縫製を売りにするファブリックメーカーはタテ1本横1本計2本で縫うことも)

・ 芯地を折り返した部分(ヒダとヒダの間)は縫ったほうが良く見え、

・ 縫い目が見えないようにすくい縫をするほうが良いと思うな。

・ 巾つなぎはヒダとヒダの間に入れるより、ヒダのすぐ脇に入れ

・ ることが多いけれど無地ばかりじゃないからね。横リビートの生地は同じ柄が並んで見えるよう計算したほうがきれいですよ。

・ 裏地をつける時の巾つなぎは同じ位置で入れるとよりきれいです。

・ ギャザーテープを2段つけて一緒に絞ってもきれいに見えます。

・ ギャザーカーテンのきれいな仕上がりのためには、取り付ける前にギャザーの寄り方をパイプに通して実験し確認をしてくださいね。

・ ヨーロッパのホテルでのヒダは主にギャザーテープが多いようです。

次回はその2、ひだと生地・縫製をお伝えします。



編集後記

お盆の間は連日猛暑。私達は編集大詰め。発刊への意気込みも加わり、より熱く。今回は暮研テーマに合わせた賛助会員さんを取材。色々なお話を聞かせていただき参考になりました。ありがとうございます。これからも会員さんを紹介してゆきますのでご協力よろしくお願いいたします。 編集スタッフ 中村ゆかり 増永佳奈 リカちゃん